

かんてつ 徹信

発行責任者：おおや 徹

発行日 2013年7月【第15号】

発行者 大矢 徹

連絡先 0466(23)5711

<http://www.ohya-toru.com/>

[mail:ohya.toru@gmail.com](mailto:ohya.toru@gmail.com)

6月定例議会報告



広報広聴委員会の様子

6月藤沢市議会定例会が、6月5日から6月25日までの日程で開催されました。

主な内容は、平成25年度藤沢市一般会計補正予算、工事請負契約の締結について（防災行政無線デジタル化更新工事）、藤沢市子ども・子育て会議条例の制定、藤沢市新型インフルエンザ等対策本部条例の制定、出資法人の経営状況（事業計画）報告などです。

なお、平成25年度一般会計補正予算の補正額は、6億9,919万8千円で、補正後の総額は、1,216億2,819万8千円となりました。

私は、市側が提案した全ての議案に賛成し、可決されました。

1. 今年度の役割

5月20日に臨時会が開催され、私は、総務常任委員会委員・行政改革等特別委員会委員・広報広聴委員会委員長となりました。

特に議会報編集委員会から、議会報告会の所管を加えた広報広聴委員会の委員長となりましたので、市民に身近な議会となるよう努力していきたいと思っております。

2. 下水道汚泥焼却灰の処理について

「東日本大震災以降に下水汚泥処理の過程で市内に溜まった汚泥焼却灰を減容し拡散をさせないこと」という主旨の陳情が出されました。

陳情者は意見陳述において「今の焼却灰を希釈してセメント業者に搬出することは、安全面からも行うべきではない。そのようなコンクリートを使用した建物は人体へ悪影響を及ぼし、被ばくによる健康被害をもたらすことが懸念される」と訴えました。

また、その代替え措置として、プルシアンブルーによる除去でほぼ放射性物質は無くなるので、こうした新技術を活用していくことを求めましたが、主旨不承という結果になりました。

現在、本市では希釈を行うことで国基準を満たしたものにしているにも関わらず、新聞報道等により搬入業者から焼却灰の受け入れを拒否されている状況にあります。

しかし、こうしている間にも毎日約2トンの汚泥焼却灰が溜り続けており、今年度末にも大清水・辻堂の両浄化センターの溜置きスペースが限界に達する想定がされています。

こうしたことを鑑みれば、コスト面の課題も踏まえ、新技術の実用化を検討することも必要ですが、他自治体が行っているように、セメント業者への搬出を調整していくことは当然と考えます。

市民の安全に十分配慮した現実的な方向性を選択していく市の対応に期待します。

3. 特別養護老人ホームの整備方針について

現在、特別養護老人ホームは12施設で定員は950人となっており、4月1日現在で1,801人を数える入居待機者の解消が喫緊の課題となっています。現在、施設整備に向けて法人に対して募集を行っていますが、応募が無い状況です。

辻堂地区は、Fujisawaサステイナブルスマートタウンまちづくり方針に基づき、誘致を進めており、パナソニック(株)が事業者の募集を行っています。

今後は、湘南台・鶴沼の募集について、土地確保の課題があることから整備方針を転換し、市内全域を対象として整備をめざすこととなりました。

4. 善行土地問題の状況について

「善行地区における地域コミュニティ活動事業用地取得に関する調査特別委員会」の調査報告書に係る市の対応について報告がされました。

海老根前市長などの不当な土地取得に対する責任追及をすることについては、平成25年4月19日に海老根前市長ほか3人を背任の容疑で、神奈川県警察本部に告発し、同日に告発状が受理されました。

今後は、警察の捜査に委ねられますが、時効を踏まえると、早々に一定の判断がされると思っております。

また、市と公社により、前所有者と本件土地の買戻しに係る協議をしており、前所有者と公社による土地売買契約を合意解除する方向で協議を行っていることが明らかになりました。前所有者の方は、百条委員会の中で、民民の売買でなく、市への売買なので、金額のどこがおかしいのか？という姿勢であったので、合意解除で話が進んでいることについては驚いていますが、合意解除の成立に大いに期待しています。

5. 保育待機児童の状況と保育所整備について

藤沢市の待機児童の状況については、4月1日現在で昨年の379人から102人減少して、277人となりました。

主な理由としては、法人立の保育所の新設や藤沢型認定保育施設制度を創設したことにより6園を新たに認定したことによるものです。

また、現在推進している「駅周辺の賃借型保育所」の藤沢駅周辺の整備状況としては、(仮称)藤沢もりのこ保育園が、定員を60名→70名にしたことにより、開園日を6月1日から8月1日に変更したほか、(仮称)にじいろ保育園藤沢(定員80名)は、建物本体工事の着工が遅れたことにより、開園日を9月1日から、11月1日に変更することとなっています。

公立保育園については、しぶやがはら保育園の移転とあわせ本市における「基幹保育所」としての整備に向け、平成28年4月からの新園舎での保育の実施を目途に、整備が進められる予定です。なお、現在のしぶやがはら保育園の園舎及び敷地の活用等を含めた今後のあり方については、待機児童の状況を踏まえながら検討を進めていく予定となっています。

高砂保育園の移転については、平成27年4月移転を目途に、UR都市機構と役割分担の基本的事項を定める基本協定の締結に向けて協議を進めています。なお、移転にあたり、運営形態は民設民営を含めて検討しており、今後保育内容等を、保護者や関係団体と十分に調整を進めていくとしています。

少子化が進行していますが、藤沢市に限って言えば、就学前児童数は若干増加していく見込みとなっています。

今後については、本年4月19日に国が発表した「待機児童解消加速化プラン」を活用し、待機児童の早期解消に向け、保育需要の多い地域を中心に賃借型保育所の整備を推進していくほか、様々な手法により、さらに待機児の解消に向けた取り組みを進めていくとしています。

6. 小中学校の体罰について

市内の小中学校の生徒を対象とした「部活動及び学校生活全般における体罰の実態把握に関する緊急調査」の結果が示されました。

結果によると、「体罰を継続的に行っていたもの」「行為の程度が甚だしく、児童生徒への影響が大きいもの」に該当した事案は、小学校3件、中学校3件でした。

体罰は、児童生徒に対する人権侵害と捉えるべきで、教職員の意識改革と体罰根絶に向けた、教育委員会の対応を注視していきたいと思えます。

7. 県内初！ 本人通知制度の導入について

私が所属する会派である「かわせみクラブ」の協議員からの一般質問の答弁で、藤沢市として、本人通知制度を導入することが明らかになりました。

本人通知制度とは、戸籍などが不正に第三者から取得された場合、取得されたことを本人に通知するものです。

昨年大きな問題となったプライム事件では、プライム総合法務事務所が、全国の探偵社や調査会社の依頼を受けて、1万件を超える戸籍謄本などの取得を不正に行い、事務所に関連した司法書士や元弁護士が逮捕されました。

この不正取得によって、ストーカーや脅迫、部落差別による会社の不採用、婚約破棄など、様々な被害が起こっていると言われており、犯罪や人権侵害のきっかけとなっています。

この1万件を超える戸籍謄本等は、本人が知らないところで不正に取得され悪用されており、神奈川県内でも461件、そのうち藤沢市民の戸籍謄本等が不正取得されたのは20件にのぼります。その20件の当該市民は、いまだにその事実を知り得ていないのです。

今回、藤沢市が導入するのは、事実告知型の通知制度ということで、第三者が取得したもの全てを通知するものではなく、犯罪や不正が認められた場合に通知するものですが、不正取得の防止、抑止力となることは間違いなく、藤沢市が導入することで、今後神奈川県内他市へ波及していくことを期待します。

私は、こういった犯罪の背景には人権問題があることを認識しなければならないと思います。人権問題は過去のものではなく、現在も継続しているものであり、特に職員は適正な事務手続きでも、そのことが人権問題に関係するかもしれないという意識を常に持つていなければならないと思います。人権の意識を高めることが、今あらためて重要だと思っています。

8. 救急ワークステーション 8/1よりスタート！

藤沢市民病院敷地内に、8月1日より救急ワークステーションが開設します。

救急ワークステーションは、救急車に医師が同乗して出動することで、早期に救急医療の提供が可能となり、救命率の向上が期待できます。市民の安心、救命率の向上に大いに期待します。

おおや徹 ホームページのご案内

おおや徹ホームページは、開設以来、多くの方にご覧いただき、おかさまで12万を超えるアクセスをいただいております。

議会状況を迅速に報告しているほか、コラムでは趣味の食べ歩きを活かして、近隣の美味しいお店などを紹介しています。最近では、こちらの報告も楽

しみにしているとの声も多くいただいております。

藤沢市をもっと良く知って好きになってもらえたらと思いながら更新していますので、是非ご覧ください！

アドレス：<http://www.ohya-toru.com/>

おおや徹 検索  クリック

